

# 電力会社の分社化と電力自由化

## 米良新聞 119

### 九州電力の分社化

改選料ののをのねこいで決コその現む  
 革と択金安つ効くのまきめスの3在国2  
 目を最供り化きくた為こにで門の20  
 的企大給まが渡み。、とか、を発電0  
 。と業限をし働らはは投か電統電力会を  
 しの抑続たきせ、資総つ気括たのし社目  
 た事制続。にる全の原分たの料た送は途  
 業しし分く環国各地に経配電社化九  
 電機、な社く境各地に営事業小  
 力会電が化すをつに電気を  
 シを気同はそいう、を  
 ス拡利同時の電う、側  
 テ大用その電う、側  
 ムす者に電力う、側  
 の電気側

平成30年3月29日  
九州電力株式会社

法的分離に伴う一般送配電事業の分社化の方向性をお知らせします  
-2020年4月1日 送配電事業の分社化に向け検討-

2020年4月の法的分離に対応し、送配電部門の一層の中立性を確保するため、一般送配電事業を分社化し、コーポレート機能及び発電・小売事業を保有する持株会社の下に100%出資会社として送配電会社を設置することを基本に検討を進めます。

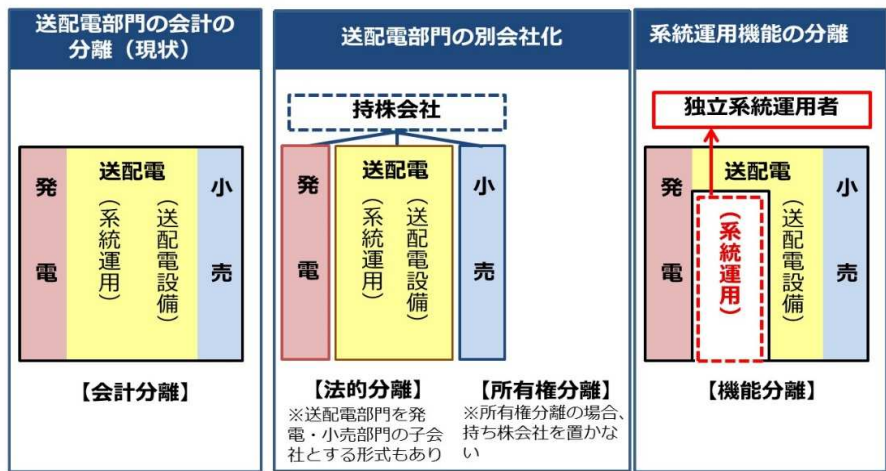
#### 1 分社化の概要

##### (1) 分社化の方式

当社を分割会社とし、送配電会社を承継会社とする吸収分割です。

##### (2) 分社化後の会社概要

	当社（分割会社）	送配電会社（承継会社）
商号	九州電力株式会社	九州電力送配電株式会社
所在地	福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号	福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
事業内容	発電事業、小売電気事業等	一般送配電事業、離島発電事業
設立年月日	1951年5月1日	2019年4月 分割準備会社設立 (2020年4月1日に一般送配電事業等を承継し、分社化)



#### 送配電部門の中立化のための「送配電分離」の4つの方法

これまで送配電部門は、各地域の電気事業者が構築し、独占的に運用していました。この送配電部門を電気事業者から分離すれば、中立性を高めることができます。分離する方法は、おおむね4つのタイプに分類されます。

##### (1) 「会計分離」

送配電部門の会計を他部門の会計から分離する方法。これにより、送配電部門への料金支払などの条件について、ほかの電気事業者とのあいだでの公平性が向上します。

##### (2) 「法的分離」

送配電部門全体を別会社化する方法。各事業部門の行為、会計、従業員などを明確に区分します。フランスやドイツの一部で採用されており、民営電力会社では持ち株会社形式などが想定されています。

##### (3) 「所有権分離」

「法的分離」のように別会社化したうえで、発電部門や小売部門の会社との資本関係も解消する方法です。英国や北欧で採用されており、電力会社が国有の国で事例が多くあります。

##### (4) 「系統運用機能の分離」

送配電設備は電力会社に残したまま、送電線を運用したり指令を出したりする機能（系統運用機能）のみを別の組織に分離するものです。系統運用は、独立した系統運用者が行います。米国の一部の州で採用されています。

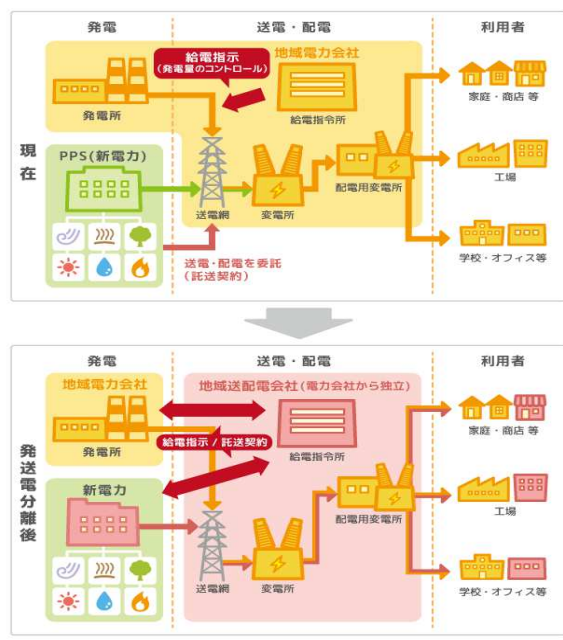
多で事こ  
 いき項れ  
 よなとを  
 うくし受  
 でなてけ  
 するは、  
 がの、一  
 で安般  
 左は定の  
 図なし方  
 をいたか  
 ごか電  
 覧と力懸  
 下いの念  
 さう供さ  
 い声給れ  
 ががる

#### 電力システム改革の目的

- 安定供給を確保する**  
 震災以降、多様な電源の活用が不可欠な中で、送配電部門の中立化を図りつつ、需要側の工夫を取り込むことで、需給調整能力を高めるとともに、広域的な電力融通を促進。
- 電気料金を最大限抑制する**  
 競争の促進や、全国大で安い電源から順に使う（メリットオーダー）の徹底、需要家の工夫による需要抑制等を通じた発電投資の適正化により、電気料金を最大限抑制。
- 需要家の選択枝や事業者の事業機会を拡大する**  
 需要家の電力選択のニーズに多様な選択枝で応える。また、他業種・他地域からの参入、新技術を用いた発電や需要抑制策等の活用を通じてイノベーションを誘発。

電力システム改革の目的は次の通り

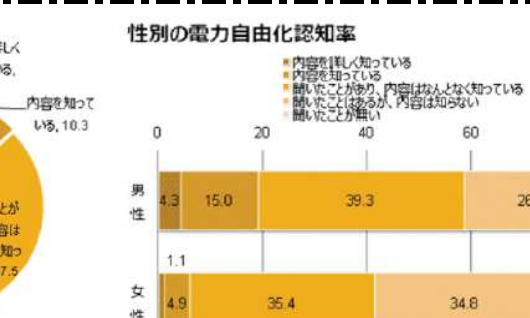
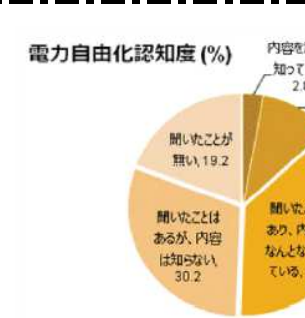
ピコ  
 スれがに  
 期より  
 され新  
 電力の  
 よりよ  
 いサイ



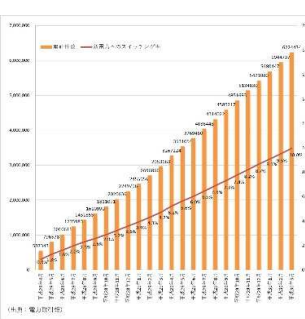
をな散ぼれ電スは2  
 広雇し独まカタ、0  
 げ用、占し事120  
 てを電した業ト00  
 い生力て。者し1年  
 くみ契行そすた7か  
 こ出約つれべこ年ら  
 としをてまてと4始  
 が、広いでにに月ま  
 注電げたは電よより  
 目力るサ電力つりた  
 さのこー力がて住電  
 れ事とビ会自、宅力  
 ま業でス社由国部自  
 す展新をが化内門由  
 開た分ほさのが化

よ力サでな西營  
 ろ致ポなくり諸業  
 しくしトおま地区所  
 ますで客したから  
 ず。未るの。これ  
 願な存在にから  
 致面ななる情  
 します。あるる報  
 伊豆元政吾

お、集やこ  
 今勧正し新れ  
 月めし安電よ  
 号致い全力り  
 では電でに数  
 社す。販心す間  
 員の会暮情、  
 の紹介をします。社ら報電力  
 のとしをい会社  
 の契約を為早く  
 向



でり1国対南  
 は開0内し九  
 そい%でて州  
 のてをはの地  
 認るえ庭知は  
 知度よ、用度  
 になう新のは  
 つでた電低  
 すな力い  
 電力自由化  
 市場の波が  
 切が、



家庭電力自由化から2年  
 目で早くも10%を超える